教科	農業	科目	* 総合実習 I	単位数	2 単位	学年	3 年	コース	F 森林環境・森林工学
使用教科書	林産物利用、農業と環境、測量			使用副教材等	なし				

目標	農業生物の育成と環境保全に関する実習を通して、農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行い、農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力について育成することを目指します。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けることができる。	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養うことができる。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む姿勢を身に付けることができる。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・実習状況の観察(実習内容を理解し、行動することができるか) ・実習記録簿(知識・技術に関する記述) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習状況の観察(実習内での自身の役割を把握し、的確に判断できているか) ・実習記録簿(自分なりの考察についての的確に表現できているか) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習状況の観察(主体的・協働的に取り組んでいるか) ・実習記録簿(振り返りや改善策を考え、今後の実習で実践していく姿勢がみられるか)

担当者からのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・主に屋外での実習となり、夏の暑い日、冬の寒い日など厳しい気候のなかで行われることもあります。どんな時でも農業実習に意欲、関心を持って取り組んでください。 ・5分前行動を身に付けてください。(時間厳守) ・実習服(帽子、ベルト、地下足袋、皮手袋を含む)を忘れないようにしてください。 ・筆記用具・電卓を使用します。
-------------	--

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1~3	4~3	<ul style="list-style-type: none"> ○オリエンテーション ・実習についての注意点や成績評価について確認する 	(知):知識・技術 (思):思考・判断・表現 (態):主体的に学習に取り組む態度
		※以下の内容をローテーションで行う ○木工 ・木材の加工と利用に必要な知識と技術について理解する ・木材の種類について理解する ・すのこの作り方を理解する ・ウッドスピーカーの作り方を理解する ○育林 ・森林資源を有効に活用する方法を理解する ・農作物の栽培、シイタケの栽培方法を理解する ・森林の環境整備の重要性と方法について理解する ○アウトドア ・森林固有の機能である、保健休養機能について理解する。 ・風致的機能について理解し活用方法について知っている。	
		○木工 ・スギとヒノキの材を見分けることができる(知)(思) ・ノコギリやベルトサンダーなどの道具を安全に正しく使うことができる(態)(思) ・釘を正しく打つことができる(知) ・スノコを最後まで完成させることができる(知)(態) ・ウッドスピーカーを最後まで完成させることができる(知)(態) ○育林 ・農作物の収穫と選別を正しい方法でできる(知) ・シイタケ原木の良否を見分けることができる(知)(思) ・カマとぎの方法を理解している(知) ・下刈りや植林など環境整備の重要性を理解している(知) ○アウトドア ・森林をエリアとしたレクリエーションや野外活動を知り、自分自身で安全におこなうことができる(知)(思)(態) ・ロープワークの方法を理解しおこなうことができる(知)(思) ・野外炊事を楽しみながらおこなうことができる(知)(思) ・野外ゲームを方法を知りおこなうことができる(知)	
		全体を通して ・最後まで粘り強く作業に取り組む(態) ・周囲と協働して作業に取り組む(態) ・実習記録簿に、自分なりの課題や考察、気づきを記入できている(態)	